

広報資料

平成 27 年 4 月 27 日 (月)

報道各位

株式会社エフエムあやべ (FMいかる)

第 17 回日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会
近畿コミュニティ放送賞受賞のご案内

特別番組部門『～12のふるさと賛歌～綾部百人一首』 優秀賞
放送活動部門『里山の魅力を発信する里山ラジオ』 優秀賞

拝啓

陽春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、4月24日(金)豊中市の千里ライフサイエンスセンター6階 千里ルームで開催されました第17回日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会近畿コミュニティ放送賞で『～12のふるさと賛歌～綾部百人一首』が特別番組部門で優秀賞、放送活動部門『里山の魅力を発信する里山ラジオ』で優秀賞を受賞しましたので以下の通りご案内申し上げます。

敬具

授賞式の写真をご提供いたしますので、お問い合わせいただければ幸いです。

広報資料

【放送賞の概要】

関西コミュニティ放送賞（第9回より近畿コミュニティ放送賞と名称変更）は、日本コミュニティ放送協会（略称：J C B A、本部：東京）傘下の近畿コミュニティ放送協議会（28社加盟）が主催するコンテストで、コミュニティ放送業界では唯一の作品コンテストとなっています。本賞は、地域文化の拠点として活動を続けるコミュニティ放送各局が、互いに切磋琢磨することにより、放送内容の向上を図り、より聴取者ニーズに沿った放送の確立を目指すとともに「コミュニティ放送」という共通の基盤に立って、放送文化の創造を担う放送マン相互の交流をはかる目的で平成11年創立（平成10年度の作品を審査）されました。

【タイトル】 第17回日本コミュニティ放送協会近畿地区協議会 近畿コミュニティ放送賞

【開催日】 平成27年4月24日（金）

【開催場所】 千里ライフサイエンスセンタービル 千里ルーム

豊中市新千里東町1-4-2

【対象作品】 2014年1月1日～12月31日の間に放送された放送番組、CM、

活動した事例、およびコミュニティ放送活動に顕著な功績のあった個人

【部門】 情報・教養番組部門／娯楽番組部門／特別番組部門／

CM部門・CMソング部門／放送活動門／パーソナリティ賞

この件につきまして、お問い合わせは、
（株）エフエムあやべ・井関までお願いします。
TEL：0773-42-9988 FAX：0773-42-9977

③ 特別番組部門

※優秀賞受賞

番組名	～12のふるさと賛歌～綾部百人一首
放送日時	2014年12月26日 13時00分 ～ 13時30分
制作意図	<p>美しい山河に囲まれた田園都市・綾部市。ふるさとを愛し後世にその気持ちを伝えたい、そう言った思いを歌に託し、ふるさと綾部を綴った「綾部百人一首」が市制施行40周年を記念して市内全12公民館の共同事業として始まったのは、昭和62年のことだった。そして市内外から応募者351人、868首が寄せられ、市民の総力の結集とも言える大事業は4年の歳月をかけ完成。まさに市民自らの手で作った過去から未来へ引き継がれるべき地域の文化遺産である。そして、綾部公民館では毎年1月に綾部百人一首かるた会を主催し、ふるさとを愛でる新春の風物詩にもなっている。一方、綾部市は5年間で約1,600人が減少し、平成26年度11月末で34,070人となっている。高齢化率は32.8%と過疎高齢化が急ピッチで進んでいる。しかし、豊かな自然と温かい人々の交流、綾部百人一首に込められたふるさと賛歌を、今の時代に再び伝えることで地域住民に元気が戻ってくるのではないかと。小倉百人一首のように決して有名ではないが、23年前に市民の力の結集で生まれた「綾部百人一首」。完成した当時の市民の熱い想いを若い世代にも伝えるとともに、住民が地域の財（自然、人、営み）を再び見つめ直すことで自信を取り戻してほしい。</p>
番組概要	<p>番組の導入部分で23年前に綾部百人一首が誕生した背景を紹介し、市内12地区の代表的な歌を選定し、それぞれの地域のすばらしい自然と人々の営みを情感豊かに紹介していく。最後の12首目に重なるように、シーンは新春のかるた会の様子に移り、新しい年を迎えた期待感を表す。そして13番目には、私たち綾部市民のアイデンティティとも言える日本初の世界連邦都市宣言都市第一号を歌った一首を紹介してエンディングとなる。読み手は、綾部百人一首の名読手と言われた故新宮あみさん。</p>
その他	<p>番組のBGMで流れている効果音（虫、川、花火など）は、すべてその現場の音である。また、一昨年、当時の綾部百人一首選考委員を務め、その普及に尽力された読み手の新宮あみさんが亡くなった。綾部百人一首には独特の音調や抑揚があり、新宮さんの音声だけが唯一残っていたカセットテープをCDのマスタリングの専門家から指導を受け、当社で100首のリマスタリングを行いアーカイブ化した。さらに映像版も作成し今年3月には市外在住の「あやべ特別市民」（平成25年末現在2,065人）にふるさと便りとしてDVDを郵送する予定。</p>
出演者	<p>読み手：故新宮あみさん ナレーション：真下加奈子</p>

⑥ 放送活動部門

※優秀賞受賞

活 動 名	里山の魅力を発信するサテライトスタジオ『里山ラジオ』
活 動 日 時	2014年10月6日16時30分（2014年10月～2015年3月）
活 動 主 旨	1999年閉校した綾部市立豊里西小学校は「綾部市里山交流研修センター」として改装され、NPO法人里山ねっと・あやべが指定管理者として運営活用してきた。その使命は、地域住民・都市住民とをつないで交流人口を増やすこと、都市農村交流から定住に向けた体験事業と情報発信を進めることである。しかし、最近、里山に魅力を感じて移住する都市住民は増えてきたが、定住を促進するためには田舎暮らしの正しい情報や情報発信の多様化が必要となってきた。そこで、住民に身近な存在であるコミュニティFMのサテライトスタジオをセンターに設置して移住者と地元住民の交流の場とするとともに、京都市のNPO三条ラジオカフェでも放送して都市部へ里山情報の発信を行うことにした。そして京都府の補助金を活用した里山ねっと・あやべ所有のスタジオを開設した。
活 動 概 要	エフエムあやべと里山ねっと・あやべが共同で補助金を申請。エフエムあやべの役割は①機材選定、②番組放送枠の提供、③番組ジングルや基本フォーマットの作成、④放送技術の指導、⑤番組制作養成講座の実施、⑥機材保守、⑦府内のコミュニティ局（京都三条ラジオカフェ）との連携業務。 里山ねっと・あやべはスタジオの所有者として、主体的にさまざまな番組を制作する。レギュラー番組番組だけでなく、廃校活用セミナーのような周辺で開催されるシンポジウムやフォーラムに合わせて、その模様やトークイベントも放送する。
そ の 他	里山ねっと・あやべのスタッフ自身がレコーダーを持ち、取材した素材を番組で流す場合もある。